

(学校名) 深セン日本人学校

学校・周辺環境



【学校について】

児童生徒数:小学部 231名、中学部 41名
職員数:教員24名、外国語講師2名、事務5名、警備員14名
4月始まりの2学期制です。

(学校紹介ビデオ) <http://img.gg/8Nfn7o1>

深セン日本人学校は、2008年に開校し、当時は児童生徒数が36名でした。2012年には現在の校舎へと移転しました。今年度で創立11年目を迎え、2018年5月現在272名の児童生徒、29名の教職員が在籍しています。

全国各地からプロフェッショナルな教員がそろっており、授業研究や子ども達との関わりの中で、日々切磋琢磨しています。子ども達や現地スタッフとの距離が近く、中規模校となった現在も大変アットホームな雰囲気があります。

←昨年、開校10周年の全校写真を学校のグラウンドで撮影しました。



【授業の様子】

子どもたち一人ひとりを大切に、自己肯定感を高め、個性を伸ばす教育に、職員一同取り組んでいます。学級定数が30名のため、現在は、どの学級も15～25名程度の少人数です。限られた教員で授業を行うため、小1から図工や音楽などで教科担任制となっています。

中国語と英語の一部は、現地のスタッフが授業にあたっています。

学校施設は、深センの中心部にあるため、日本の学校と同じとはいきませんが、限られた条件の中、職員・保護者が知恵を出し合い、子どもたちのためにがんばっています。

←学校探検の様子です。2年生が1年生に説明をしています。



【主な行事】

前期: 始業式、入学式、校外学習、大運動会、小6・中2修学旅行、中学部学習発表会

後期: 小5宿泊体験学習、小学部学習発表会、卒業式、修了式

* 特別活動に縦割り活動(フレンズ活動)を位置づけ、ランチ、清掃、遠足・夏祭りなどのイベントを行っています。

* 運動会は、2011年のユニバーシアード深セン大会の会場となった深セン湾体育中心の施設を使って行っています。

←中2修学旅行(北京)の様子です。小6の修学旅行は西安です。



【現地理解教育・国際交流】

現地理解のため、校外学習や現地文化を知るための学習に取り組んでいます。

日系企業訪問、現地施設訪問(上水供給会社、消防署、公園、博物館、町たんけん等)

職場体験(幼稚園、語学学校、スーパー、日本食料店等)

現地校交流(全学年)、深セン大学交流(中学部)、国際学校交流会(本年度から実施予定)

中国文化体験・見学(春節獅子舞、中国楽器、中国書画、中国武術等)

その他、教員研修として、同様に施設等の見学を実施しています。

←春節前、中国獅子舞を体験しました。

生活環境



【住居】

住居は、学校が用意します。敷地の入り口には、セキュリティーゲートがあり、警備員が24時間出入りをチェックしています。住居は、基本は、1ルームで、学校が借り上げていますので、個人負担は、光熱費、ネットなど個人使用料等です。

学校への出退勤は、乗り合いの学校車があり、利用できます(出勤便は1日1便、退勤便は1日3便)。徒歩でも通勤できる距離です。

←学校が借り上げている住居のあるアパートメントの外観



【周辺のお店・病院等】

居住予定地は、学校から徒歩圏内です。すぐ近くには、大きなスーパーがあり、ほとんどのものが手に入ります。また、宅配が発達していますので、食料品から日用雑貨まで、何でも、お店に注文して届けてもらうこともできます。日本のものもブランドにこだわらなければ手に入ります。もし、どうしても手に入れたいものがある場合は、1時間程度で香港へ行けます。香港まで行けば、割高ですが、たいいものは手に入ります。

飲食店も、日本食、中華、洋食・・・どんな食事でもできます。どの店も出前可能です。

病院は、日本の医師がいる病院、歯科医院があります。現地の医院でも日本語の通訳がいる病院もあります。

←スーパーの様子です。有機栽培・無農薬の野菜も販売されています



【物価・休日・現地独自の文化等について】

- ・地下鉄、バス、タクシーでほとんどどこへでも行けます。初乗り料金は、地下鉄2元(34円)、バス1元(17円)、タクシー初乗り10元(170円)です。タクシーを使っても、30元(510円)あれば、学校のある南山区内どこでも移動できます。安全上の理由から、職員の自動車・自転車の運転は禁止しています。
- ・中国語のレッスン、バドミントンなどのサークル活動などをしている人もいます。冬になると、マカオ、香港、深センで国際マラソン大会があり、参加者もたくさんいます。
- ・物価は、日本のものを手に入れようとすると、日本の2倍程度ですが、学校からの手当てで十分生活可能です。

←学校付近の様子(自由貿易試験区)の看板があります

応募者へのメッセージ

校長より

深セン市は中国の南部、広東省に位置し、香港に隣接している中国第4の大都市です。中国初の経済特区に指定されてから40年、最近は、「赤いシリコンバレー」として世界から最も注目されている都市の一つです。高層ビルが立ち並び、なお日々進化していく最先端の都市の生活を身をもって体験することができます。海外の学校、そこでの仕事や生活には不安な要素がたくさんあるかと思いますが、その不安の向こうでは、学校が大好きな子どもたち、子どもたちが大好きな私たち教職員が、本校校歌(大黒摩季さん作詞作曲)の「素直なままで」にあるとおり、挑戦する気持ちを大切に日々過ごしています。今の子どもたちが成人するころには、世界の中での中国の影響力は、今以上に大きくなります。そうした未来を生きる子どもたちが、ここ深センでの生活を糧にし、活躍できる素地をつくるための教育を模索しています。

学校採用教員より

ようこそ深セン日本人学校へ！中国の学校現場(日本人学校ではありませんが…)で働くのは初めてなので始めは不安もありましたが、頼れる先輩・同期教員のみなさんや事務局のみなさんのおかげで、毎日楽しく過ごすことができている！教職員だけでなく、子ども達も明るく素直な子が多いように感じます。とてもかわいいです！週末は家でんびり過ごしたり、買い物へ出掛けたり、ランニングやスポーツをしたりと過ごし方はさまざま。お待ちしております！！